

奥出雲まるごと暮らせる博物館プロジェクト

～農泊・田舎暮らしコーディネート募集～

【奥出雲の風土が、あなたの未来を創る】

奥出雲は全面積の 84%を占める森林資源と、出雲神話のルーツに彩られた、斐伊川の源流域の豊かな自然に恵まれています。

1,400 年の秘伝が今に息づく日本古来のたたら製鉄由来の棚田が受け継がれ、ブランド米の仁多米を育む豊潤な大地など、奥出雲の風土があなたを育み、あなたの想い(自己実現)が奥出雲の新たな魅力を創る自己実現の可能性に満ちています。



1 公益財団法人奥出雲多根自然博物館 ～全国唯一「泊まれる博物館」～

「宇宙の進化と生命の歴史」をテーマとする当博物館は、果てしない宇宙と生命進化の歴史を知り、生命誕生の奇跡を知り、自然と人間のかかわりや、人間として自分自身の考えや生き方を学んでほしいとの思いからパリミキ創業者により設立された自然史博物館です。

人間社会誕生の神話が語られる奥出雲の地において、生命の起源を知ることの意義は深いと思いますが、立地条件として遠隔地からの来館には交通手段をはじめ、不便さが否めない事情があります。

このような課題に応え、幼児から青少年はもちろんご家族・親子で宿泊しながらの体験や、幅広い宿泊研修の場となれるよう「泊まれる博物館」というユニークな博物館活動を展開しています。

今後一層この目的達成を図るには、公益事業として宿泊研修施設を一体的に運営し、全国唯一の滞在型博物館モデルとしての公益財団法人奥出雲多根自然博物館をめざします。



2 一般社団法人奥出雲百姓塾（令和7年12月10日設立）

当法人は、奥出雲町における世界農業遺産の保全及び活用を推進し、体験交流を通じた関係交流人口の創出、人材育成及び地域の担い手確保を図ることにより、地域活性化と持続可能な地域づくりに寄与することを目指して新たに創立しました。

〈目指す事業〉

1. 地域住民と連携し、地域資源を活用した体験交流事業の企画、実施
2. 地域づくりを担うリーダー及び担い手の育成と定住促進に関する事業
3. 行政機関、関係団体、地域住民協働による持続可能な地域づくり事業
4. 前各号に附帯又は関連する事業

①農泊体験交流施設「百姓塾」

奥出雲町は稲田姫、スサノオが結ばれた土地として、八重垣神社、たたら製鉄鉄穴流し跡で作られた棚田、鉄を運ぶ宿場町、神話とたたらの里を物語る風土があります。

農泊施設「百姓塾」は宿泊定員12名の一棟貸し一棟の古民家です。天井裏（天田）には、手作りの生活用具、鍛冶屋で特注の農具など保存。昔の生活を知る民具が保存され、牛小屋は、食と農の体験施設として整備しています。



農業体験は、農家の方から教わる。仁多米づくり、田植えから、除草体験、実りの秋、収穫の喜び、天日干し、お米一粒一粒の大切さを実感して頂きます。

昨年度は、農泊者790名あまり、農業体験200名あまりの参加者があり、県外からもリピーターで多く来訪され、笑顔でお迎えしております。

奥出雲で営まれた風土が、世界、人類の持続可能社会のモデルとして期待されていることを誇りに、未来への地域づくりを目指しています。

百姓塾では無農薬、地元和牛堆肥で育てた特別栽培の仁多米を八重垣神社の故郷にちなみ、「ご縁米」として、ご宿泊者、ツアー参加者限定でお渡ししております。



②交流拠点施設「佐白温泉長者の湯」

泉質の良さが評判の「奥出雲美肌温泉郷」にある佐白温泉は、奥出雲らしさ、癒しなど、また訪れたくなると評判の温泉です。そして、安全安心の奥出雲の食、文化イベント、各種交流拠点施設として地域づくりを担っています。

今後は、農家レストラン、農産・特産品直売などの開設を目指しています。



【奥出雲まるごと暮らせる博物館プロジェクトとは？】

このプロジェクトでは、公益財団法人奥出雲多根自然博物館、一般社団法人百姓塾が連携し、町内の自然環境や里山(山、川、水田、水路、住宅等)をフィールドとして様々な活動(フィールドワーク、体験事業)を展開する長期体験型滞在プログラムを推進する取り組みです。

「多根自然博物館」「百姓塾」「佐白温泉長者の湯」の各施設の特色を生かしながら、活動を行っていただきます。

暮らせる博物館プロジェクト構想

一般社団法人
奥出雲百姓塾

農泊・体験交流
GIAHSツーリズム

農業担い手育成
地域おこし協力隊

子育ての里
教育旅行

健康長寿の里
佐白温泉「長者の湯」



公益財団法人 (泊まれる博物館)
奥出雲多根自然博物館

『宇宙の進化と生命の歴史』
生まれた奇跡・出会いの不思議

自然史博物館

研修施設

宿泊施設

レストラン



奥出雲まるごと自然史博物館

たたら製鉄由来の資源循環型農業
日本農業遺産・奥出雲町

募 集 要 項

業務概要

(活動の環境等、概要説明)

世界農業遺産に認定された、奥出雲町の風土を活かした、「奥出雲まるごと暮らせる博物館プロジェクト」を推進する、公益財団法人奥出雲多根自然博物館並びに、一般社団法人奥出雲百姓塾で勤務していただきます。

豊かな森林資源と清流、歴史・文化、そして豊潤な大地と食に恵まれた、奥出雲の四季の魅力を体験する「奥出雲まるごと暮らせる博物館プロジェクト」の活動に従事し、未来を育む自己実現を目指して頂きます

地域住民とも関わりあいながら、奥出雲町の資源を未来へ紡ぐ、将来の担い手になっていただきたいと考えています。



【主な業務】

1 公益財団法人奥出雲多根自然博物館

- ・長期体験型滞在プログラムの推進(奥出雲まるごと暮らせる博物館プロジェクト)
- ・奥出雲多根自然博物館のリニューアル計画と事業実施
- ・宿泊施設及び周辺施設整備及び運営



2 一般社団法人奥出雲百姓塾

①農泊体験交流施設「百姓塾」

- ・長期体験型滞在プログラムの推進(奥出雲まるごと暮らせる博物館プロジェクト)

- ・農泊、農業体験などによる、都市農村交流推進。

※奥出雲の魅力体験事業の企画・実施

- ・農作業等の従事により、農業経営へのノウハウを身に付け、地域の後継者等人材育成への参加



②交流拠点施設「佐白温泉長者の湯」

- ・長期体験型滞在プログラムの推進(奥出雲まるごと暮らせる博物館プロジェクト)

- ・入浴施設及び、交流施設の管理運営



【三年間の目指すイメージ】

■1年目

「奥出雲まるごと暮らせる博物館プロジェクト」の活動に従事し、現場スタッフとしての経験を積んでいただきます。

SNS やホームページなどで情報発信を行い、職員や地域住民との関係も構築していただきます。

■2年目

奥出雲の暮らし、文化を習得するなかで、新しい企画、実施を行い子どもたちや地域住民へ広くPRする活動を行います。

	■3年目 あなたならではの、奥出雲町での暮らしたくなる未来構想を発表していただき、町内外へ広く知ってもらう機会を増やしてください。 協力隊としての成果を発表し、今後の展望を地域に広く共有します。
募集対象	【応募資格】 (1)年齢:18歳以上 (2)三大都市圏(※1)をはじめとする都市地域等(※2・※3)(過疎・山村・離島・半島など条件不利地域に該当しない市町村)から奥出雲町に住民票を移し生活の拠点を置き居住する方 (3)奥出雲町に1年以上居住し地域おこし協力隊活動に従事可能な方 (4)心身ともに健康で地域住民の皆さんとコミュニケーションがとれるとともに、地域活性化に深い熱意を持ち積極的に活動・貢献できる方 (5)任期満了後も引き続き奥出雲町で定住を目指す方 (6)地域おこし協力隊の業務内容及び目的を理解している方 【必須スキル】 (1)普通自動車免許を所持し、日常的な運転に支障のない方 (2)基本的なパソコンの操作(ワード、エクセル等)ができる方 (3)人とコミュニケーションを取ることが好きで、自ら積極的に地域と関わるることができる方 ※1:三大都市圏とは、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、岐阜県、愛知県、三重県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県をいう。 ※2:都市地域とは、「過疎、山村、離島、半島等の地域」(以下「条件不利地域」という)に該当しない市町村をいう。 ※3:「過疎、山村、離島、半島等の地域」とは、過疎地域自立促進特別措置法、山村振興法、離島振興法、半島振興法、奄美群島振興開発特別措置法、小笠原諸島振興開発特別措置法、沖縄振興特別措置法の各法により指定された地域を有する市町村をいう。 ※4:ただし、奥出雲町以外の市町村で地域おこし協力隊の任期を2年以上経過し、任期満了後1年以内の方を除く。
募集人員	4名
勤務地	公益財団法人奥出雲多根自然博物 一般社団法人奥出雲百姓塾 (島根県仁多郡奥出雲町佐白 236-1) Tel 0854-54-0003 FAX 0854-54-0005 e-mail info@tanemuseum.jp
勤務時間	20日／月 程度 シフト勤務(休憩時間合計:1時間10分)

雇用形態・ 期間	・事業所型隊員 雇用期間は着任日から令和10年3月31日まで (ただし毎年の実績に応じ審査があり最長3年間まで勤務可能です。) ※ 町との雇用関係はありませんが、町は地域おこし協力隊として委嘱します。
給与・賃金	○月給 180,000 円 ○賞与 なし ○退職手当 あり
待遇・福利厚生	※家賃手当 10,000 円 ※社会保険、雇用保険適用 あり ※労働災害補償 あり
申込受付期間	令和8年10月30日(金)まで
審査方法	■応募申し込み方法 ・履歴書(指定の応募用紙)に必要事項をご記入ください。 ・メール提出時のタイトルは、「(企画名)奥出雲町地域おこし協力隊応募」としてください。 (企画名)奥出雲まるごと暮らせる博物館プロジェクト ・上記いずれもパソコンでの作成可。 ・可能な限りメールで提出してください。 ※郵便の場合は、封筒の表面に「地域おこし協力隊申込」と朱書きし、書留としてください。 ■受付期間 令和8年10月30日(金) ■募集内容についての問い合わせ先 奥出雲町役場 商工観光課 地域おこし協力隊担当 景山、安部 Tel 0854-54-2524 FAX 0854-54-0052 e-mail oku-kanko@town.okuizumo.shimane.jp ■応募書類の申込先 〒699-1511 島根県仁多郡奥出雲町三成358-1 奥出雲町役場 奥出雲創生課 地域おこし協力隊担当 藤原、今岡 「奥出雲町地域おこし協力隊募集係」 Tel 0854-54-2514 FAX 0854-54-1229 e-mail sosei@town.okuizumo.shimane.jp ■選考 (1)1次選考(書類選考・オンライン面談) 応募を受け付け次第、応募者と日程調整のうえ受入担当者とのオンライン面談を行います。なお、応募者が希望する場合は、現地での面談も可能とします。※その際の交通費・宿泊費は応募者の個人負担となります。 選考結果は令和8年11月中旬ごろに履歴書記載の連絡先へメールまた

は電話で通知します。

(2)オリエンテーション(現地)

1次選考合格者を対象に、2次選考前日(令和8年11月24日(火)午後予定)にオリエンテーションを行います。現役隊員・OBによる活動・暮らしの紹介、各業種の現地説明を予定しています。詳細は対象者へ別途お知らせします。

(3)2次選考(面接)

オリエンテーションに参加した1次選考合格者を対象に、奥出雲町役場 仁多庁舎で面接を行います。時期は令和8年11月25日(水)予定で行います。(日程は状況に応じて前後変更がある場合もありますのでご了承ください)

※オリエンテーション及び2次選考に係る交通費については、応募者の個人負担となりますのでご了承ください。なお、参加者の宿泊費は助成します。(上限1泊 12,000 円)

■その他

お問い合わせや事前見学をご希望される場合には、お気軽にご連絡ください。担当職員などがオンラインでの説明や現場の案内をさせていただきます。